

9月12日（火）開催

「責任あるサプライチェーン」の実現に向けて： Sedexを活用するメリット

～サプライチェーンエシカル情報プラットフォームのご紹介～

CAUX ROUND TABLE

Sedex®

- 日 時： 9月12日（火）13時00分～15時00分（受付開始：12時30分）
- 会 場： AP東京丸の内（日本生命丸の内ガーデンタワー 3階）
地図 <http://nissay-marunouchi.com/access/>
三田線「大手町駅」D6出口直結
JR「東京駅」、丸ノ内線「東京駅」「大手町駅」、千代田線/東西線/半蔵門線「大手町駅」徒歩数分
- 主 催： 経済人コー円卓会議日本委員会、Sedex Group
- 言 語： 英語（日本語への逐次通訳あり）
- 参 加 費： 無料
- お 申 込 み： 下記リンクよりお進みください。
締切：8月31日（木）※定員30名になり次第、締め切ります。
<https://business.form-mailer.jp/fms/835973db53084>



Mrs. Rachael Barrie
Account Manager
Sedex Group

企業の調達活動がグローバル化し、サプライチェーンが多様化する中、サプライチェーン上の社会的課題（人権、労働、環境、コンプライアンス等）が予測不可能なリスクとなって企業のオペレーションやレピュテーションに重大な影響を及ぼす可能性が高まっています。2015年G7エルマウサミットでは、「責任あるサプライチェーン」の構築を企業に求めることが首脳宣言の中に明記され、英国では現代奴隷法が成立するなど、社会・環境面も含めたサプライチェーンマネジメントが今や事業継続における最も重要な課題の一つとなってきたといっても過言ではありません。特に、日本企業においては、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて世界の注目が集まる中で、限られたリソースの中でいかに効果的にリスクを予防・軽減できるかが問われているといえます。

このようなサプライチェーンマネジメントにおける課題に対応すべく、効果的な支援ツールを提供しているのが、世界最大規模のサプライチェーンエシカル情報プラットフォーム（会員40,000以上）であるSedexです。2012年のロンドンオリンピック・パラリンピック、そして、2016年のリオオリンピック・パラリンピックでも採用されたSedexのオンラインプラットフォームを活用することで、企業は、国際的に求められる人権、労働、環境、コンプライアンス等の事項について、自社のサプライチェーンにおけるリスクを効果的かつ効率的に管理し、倫理的で責任ある調達慣行の実現に向けて改善活動を進めていくことができます。

今回のセミナーでは、Sedex GroupよりAccount ManagerのRachael Barrie氏を迎え、Sedexを用いた効果的かつ効率的なサプライチェーンの管理手法について事例を交えてご紹介します。また、会場の皆様からのご質問にもお答えいたします。

サプライチェーンマネジメントについてお悩みの企業様、また、Sedexの導入を検討している企業様も、直接疑問点をご質問・ご確認いただく絶好のチャンスです。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

団体紹介

Sedex（本部：ロンドン）は、グローバルサプライチェーンにおけるエシカルで責任あるビジネス慣行の実現を目指し、エシカルなサプライチェーンデータを管理・共有する世界最大のプラットフォームを提供するNPO会員組織です。現在、世界150カ国、28以上の業界の40,000以上の企業/団体/工場/自営業者等がSedexの会員となり、そのサービスを利用しています（サプライヤーエシカル情報共有プラットフォームとしては世界最大規模）。CRT日本委員会はSedexの日本代表窓口として、日本企業におけるSedexの導入サポートやアカウントマネジメントを実施しています。

お問い合わせ先：CRT日本委員会 担当：和田 メール：hiroki_wada@crt-japan.jp 電話番号：03-5728-6365